年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　国語　科目 現代の国語

教　科： 国語　　科　目： 現代の国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組～ A 組

使用教科書：（ 数研出版　新編 現代の国語 ）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。［⑴イ］

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。［⑴イ］	「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。［Ａ⑴ウ］	相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 書き手の意図をつかむ 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「目指す世界の地図を作る」 【チェックポイント１】「わかりやすく話す」	○		○	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。［⑴イ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［Ｃ⑴ア］ ・筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明できる。	○	○	○	5
	B 文章の展開を把握する 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「時間とは何か」 【チェックポイント２】メモをとりながら聞く 【適切に話す・聞く】スピーチ		○		・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。［⑴オ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［Ｃ⑴ア］ ・筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめることができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 対比を読み取る 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「水の東西」 「里山物語」 【文章トレーニング２】要約する		○	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。［⑵イ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［Ｃ⑴ア］ ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめることができる。	○	○	○	8
	D 社会の中の文章 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	文章の構成を工夫して提案する〈企画書〉 課題を発見し解決策を発表する〈SDGs解説文〉 グラフをもとに話し合う〈アンケート調査〉 【チェックポイント６】根拠の妥当性を説明する	○	○		・実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。［⑴エ］ ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。［Ｂ⑴イ］ ・課題資料を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に資料を作成することができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

2学期	E　コミュニケーションと言葉 【知識及び技能】 　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「世間話はなぜするか」 【探求の扉】非言語コミュニケーション 【チェックポイント３】適切な書式で通知する	○	○	○	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。［⑴エ］ ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。［C⑴イ］ ・具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明することができる。		1		6
	F 言葉の働きをとらえる１ 【知識及び技能】 　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「語感トレーニング」 写真を文章で説明する			○	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。［⑴エ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［C⑴ア］ ・筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合うことができる。				8
	G 言葉の働きをとらえる２ 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「コインは円形か」 「科学と非科学」 【探究の扉】科学的とはどういう意味か 【チェックポイント４】必要な情報を整理して書く			○	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。［⑴ア］ ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。［C⑴イ］ ・筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合うことができる。				7
	定期考査									1
3学期	H根拠を読み取る 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「『差』という情報」 「『わらしべ長者』の経済学」 【チェックポイント５】目的に応じて情報を聞き取る		○		・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。［⑴イ］ ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。［B⑴イ］ ・課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明することができる。				10
	I話言葉の技術 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	【発表の方法】プレゼンテーション 【話し合いの方法】ディベート・討議 【文章トレーニング４】意見文を書く		○		・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。［⑴イ］ ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。［A⑴ウ］ ・相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫することができる。				8
	定期考査									1
										合計
										72

年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　　国語　　科目 言語文化

教　科： 国語　　科　目： 言語文化　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1　　H1 組～ A 組

使用教科書：（ 数研出版　新編 言語文化　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	A 「ことば」を吟味する 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「言語文化と近現代」 「舟を編む」 「【ズームアップ】辞典？事典？字典？辞書？」 ・辞書の活用 ・一人１台端末の活用	○		○	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。［⑴ウ］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。［B⑴イ］ ・進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察することができる。	○	○	○	6
	B 古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「古典への招待１」 「宇治拾遺物語」 「古典文法１」 「【ズームアップ】古語と現代語」 ・一人１台端末の活用	○		○	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。［⑵ウ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。［B⑴ア］ ・積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明することができる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

	C 現代にも生きる教え 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「古典への招待２」 「徒然草」 「古典文法２」 「【ズームアップ】世の中を見つめる目」 ・一人１台端末の活用		○	○	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。［⑵ウ］ ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。［Ｂ⑴オ］ ・進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合うことができる。	○	○	○	8
	D 詩歌を味わう 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「六月」 「サーカス」 「短歌」 ・一人１台端末の活用		○	○	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。［⑴ウ］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。［Ｂ⑴ウ］ ・進んで作品構成を解釈し、学習課題に沿って詩を創作することができる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	E 受け継がれる古典 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「羅生門」 「【探究の扉】今昔物語集」 ・一人１台端末の活用	○	○	○	・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解できる。［⑴エ］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。［Ｂ⑴イ］ ・積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にすることができる。	○	○	○	8
	F 昔と変わらない人の心 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。	「言語文化と古文」 「古典への招待３」 「伊勢物語」 「古典文法３」 ・一人１台端末の活用	○		○	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。［⑵ウ］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。［Ｂ⑴イ］ ・和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直すことができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

	G 語感を磨く 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「側転と三夏」 「【ズームアップ】十七文字の言葉に遊ぶ」 「俳句」 「【探究の扉】春や春」 ・一人１台端末の活用		○	○	・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解できる。［⑴エ］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。［Ｂ⑴ウ］ ・進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。	○	○	○	6
	H 和歌が作り出す世界 【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 「【探究の扉】和歌を訳す」 ・一人１台端末の活用		○	○	・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる。［⑴オ］ ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。［Ａ⑴ア］ ・好きな和歌について積極的に調べ、学習課題に沿って紹介文を書くことを理解する。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
３学期	I 日本語の中に生きる漢文 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「言語文化と漢文」 「訓読の決まり」 「格言」 「漁夫の利」 「虎の威を借る狐」 「管鮑の交わり」 ・一人１台端末の活用			○	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる。［⑵ア］ ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。［Ｂ⑴オ］ ・故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組むことができる。				8
	J 論語のことば 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「論語」 「探究の扉」廄家事 ・一人１台端末の活用			○	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる。［⑵ア］ ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。［Ｂ⑴エ］ ・漢文に取材した落語のあらすじを調べる活動において、粘り強く調査に取り組むことができる。				3
	定期考査						○	○		1 合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　国語　　科目 論理国語

教　科： 国語　　科　目： 論理国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2　　H1 組～ A 組

使用教科書：（ 東京書籍　新編論理国語 ）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

科目　論理国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	A 論理の力 【知識及び技能】 「論理」の狭義の意味と広義の意味の違いを整理した上で、主張とその前提や反証など情報と情報の関係について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで演繹的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えることができるようにする。	論理とは何か 【つなげる力】 【論証する力】 【要約する力】 【質問する力】 ・一人１台端末の活用		○	○	・「論理」の狭義の意味と広義の意味の違いを整理した上で、主張とその前提や反証など情報と情報の関係について理解を深めることができる。［(1)ア］ ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。［B(1)エ］ ・進んで演繹的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えることができる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	B 広がる風景 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の主張について考え、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合うことができるようにする。	「対話とは何か」 「世界をつくり替えるために」 ・一人１台端末の活用	○		○	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。［(1)イ］ ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できる。［B(1)ウ］ ・粘り強く筆者の主張について考え、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合うことができる。	○	○	○	6

	C 考える手がかり 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から考えを深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に具体例を通して筆者が述べようとする考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の捉え方を理解できるようにする。	「少女たちの『ひろしま』」 「『ふしぎ』ということ」 ・一人１台端末の活用	○		○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。［⑴ウ］ ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から考えを深めることができる。［Ｂ⑴カ］ ・積極的に具体例を通して筆者が述べようとする考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の捉え方を理解できる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	D 人間と知性 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、これまでの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について、筆者の意図と自分の考えを整理し話し合うことができるようにする。	「学ぶことと人間の知恵」 「ラップトップ抱えた『石器人』」 コラム「文章を読み比べるために」 ・一人１台端末の活用	○		○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。［⑴ア］ ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりできる。［Ｂ⑴キ］ ・積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、これまでの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について、筆者の意図と自分の考えを整理し話し合うことができる。	○	○	○	8
	E 現実の中で 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く、比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、理解を深めることができるようにする。	「思考の肺活量」 「安心について」 ・一人１台端末の活用	○		○	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにできる。［⑴イ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握できる。［Ｂ⑴エ］ ・粘り強く、比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、理解を深めることができるようにする。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	F 言語活動編 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの観点から情報収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定できるようにする。	【１．資料を整理し、テーマを吟味しよう】 【２．仮説を立てて検証しよう】 ・一人１台端末の活用	○	○		・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができる。［⑵イ］ ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの観点から情報収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決められる。［Ａ⑴ア］ ・積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定できる。	○	○	○	7

	G ものの見方 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しないようについて話し合うことができるようにする。	「弱肉強食は自然の摂理か」 「複数の『わたし』」 ・一人１台端末の活用	○		○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。［⑴ウ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。［Ａ⑴イ］ ・積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しないようについて話し合うことができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
３学期	H 働くよろこび 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しないようについて話し合うことができるようにする。	「はじめに『言葉』がある」 「楽に働くこと、楽しく働くこと」 【情景の中の労働】 【鉄、千年のいのち】 ・一人１台端末の活用	○		○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる［⑴ウ］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。［Ａ⑴イ］ ・積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しないようについて話し合うことができる。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1 合計 70

令和5年度(2023年度) 年間指導計画

教科	国語	対象クラス	○ 必修	単位数	3
科目	現代文B	3年全クラス	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	新編現代文B （東京書籍） トータルサ ポート新国語 便覧（大修館 書店） 意味から学ぶ 常用漢字（第 一学習社）	科目担当者			
評価の観点・方法	定期考査（70%）・漢字の小テスト（20%）・ノートやプリントなどの提出物（10%）				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1学期	4	随想 小説	筆者の考え方や感じ方を、表現の特徴に注意して読み取る。 小説に描かれた人物の心情や人間関係を表現に即して読み取る。	茂木健一郎「最初のペンギン」 吉本ばなな「みどりのゆび」	7
	5	中間考査 評論	文章の構成、展開、要旨を的確に捉える。	河合隼雄「『ふしぎ』ということ」	8
	6	小説	登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。	中島敦「山月記」	13
	7	期末考査	登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。	中島敦「山月記」	3
	8				
2学期	9	小説	小説を読むことを通して、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。	夏目漱石「こころ」	9
	10	中間考査 小説	小説を読むことを通して、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。	夏目漱石「こころ」	11
	11	評論 随想	表現に注意し、提示された問題を的確に把握する。 体験に基づく随想を読み、筆者の思いを表現に注意して捉える。	鷲田清一「思考の肺活量」 小池昌代「カフェの開店準備」	7
	12	期末考査	体験に基づく随想を読み、筆者の思いを表現に注意して捉える。	小池昌代「カフェの開店準備」	3
3学期	1	評論小説	筆者の考えを手掛かりにして、現代社会を生きていくうえでどのような姿勢が必要なのか考える。 表現の巧みさに触れ、読書の楽しさを見出す。	廣淵升彦「安心について」 絲山秋子「ベル・エポック」	6
	2	学年末考査			
	3				